

# 築き上げてきたものを大切に さらに発展させ 次の世代へつなぐ



市長 黒田実

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。市民のみなさまには、平成27年の新春を健康やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は市政発展のために、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

## 災害に強いまちづくり

さて、昨年を振り返りますと、国内外を問わずさまざまな問題がありました。市民のみなさまの暮らしを守る行政として、大きな出来事の一つは全国各地で起こった災害です。交野市において大きな災害はありませんでしたが、長野県南信州や広島市での土砂災害は、山地を抱える本市にとって他人事ではありません。治山・治水対策や建物の耐震化などの防災対策もさることながら、災害時において

は迅速かつ安全に、地域全体で避難することの大切さを痛感いたしました。本市におきましては、各地域での防災訓練の取り組みが年々増えてきております。災害を防ぐだけでなく、被害を最小限にとどめる、いわゆる「減災」の取り組みとして、地域の自主防災組織により積極的にサポートすることで、市全体で災害に強いまちを旨ざしてまいります。



## 活力ある地域社会へ

昨年、本市におきましても65歳以上の人口が25%を超えました。これは4人に1人が高齢者ということです。少子・高齢化がますます現実のものとなっております。

政府におきましても、人口減少・高齢化社会の中で、地方創生を大きな柱として掲げました。国・地方が一体となり、これからの活力ある日

援とご協力により、後顧の憂いなく議会運営に精励することができましたことを心からお礼申し上げます。

今日、急速な技術革新やグローバル化とともに、私たちは大きな変革の時期に遭遇しておりますが、わが国の政治・経済は依然として、先行きの不透明感が払拭できない情勢であります。国においては、構造改革や景気回復のためのさまざまな施策が講じられてきておりますが、一刻も早く実感できる成果を期待したいところであります。

一方、少子・高齢化や公共施設の老朽化など、地方自治を取り巻く環境はますます多難であり、そのかじ取りも厳しいものがあります。国家財政が非常に厳しい中、本市におきましても、厳しい財政運営を余儀なくされております。しかし、少しずつではありますが、危機的な状況から脱出しつつあり、防災行政無線や消防救



## 価値あるまちを営む

本・地域を作り上げていかなければなりません。また、本市の今後の大きな課題は、いかにして若い世代を増やしていくか、そして、年代を問わず健康でいられるかということです。

昨年9月に市長という重責を担うにあたり、教育・子育て・健康・環境・雇用の5つを、これからの交野のまちづくりの方向性として掲げました。自然豊かな環境で、交通の利便性の高い交野は、子育て世代にとってさらに魅力あるまちになる可能性を十分に備えております。教育・子育ての充実と身近な雇用の場を創出

することで、きっと若い世代が集まってくるでしょう。そして、素晴らしい環境の中で、健康寿命も伸ばすことができるでしょう。

「近き者説よきび遠き者来る」という論語の一節があります。近くにいる民が喜べば、遠くからも民が集まってくるという意味です。交野に住んで良かった、住み続けたいと思っていただけの市民が増えれば、交野に住んでみたいと思う人が集まってくるでしょう。私が掲げた5つのまちづくりの方向性を基に、市民のみなさまとこのまちの魅力を高める一歩を踏み出してまいりたいと考えております。

本年も市政運営により一層



市議会議員 前波 艶子

新年明けましておめでとうございます。市民のみなさまには、輝かしく希望に満ちた初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、みなさまのご支

